



第2期 医療機器開発海外展開人材育成プログラム 中間報告会

開催報告

本プログラムの中間報告会を2018年1月9日（火）に開催いたしました。
国立国際医療研究センター病院(以下、NCGM)からは院長 大西真先生、医工連携推進室
室長 福田尚司先生、深谷隆史先生、国際医療協力局 杉浦康夫先生、小原博先生、受講生
として参加される医療機器メーカー・ものづくり企業の方々、東京都産業労働局商工部、
東京都医工連携HUB機構コーディネーターが出席しました。

報告内容

中間報告会では、受講生の方々から各講義で学んだことを発表いただきました。

海外の医療の現状に関する講義では、国際協力の現状と日本の医療の現状の両方を知る医療スタッフからミャンマー、ラオス、モンゴルの医療制度、医療環境を学ぶことができ、受講生の方々にとっては新たな医療機器開発の発想をつかむきっかけとなりました。

見学では、現場で使われている医療機器とその使用環境を見るだけでなく、医療機器開発ニーズにつながるような現場の課題についても議論となりました。

ディスカッションでは、受講生と参加者の方々との間で、講義、見学の結果をもとに、各国の医療事情に関する統計データを見ながら、それぞれの国で医療機器を販売するうえでの課題、今後のプログラムの中で検討すべきことを議論しました。

(中間報告 目次)

- 全体スケジュール
- 中間報告会までの取組内容

講義「海外の医療の現状を学ぶ」：ミャンマー、ラオス、モンゴル

見学：一次救命処置、二次心肺蘇生法、中心静脈カテーテル
医療機器管理室（見学及び講義）

受講生の所感、ディスカッション

～第2期生の最終報告会について～

第2期生の最終報告会を3月13日（火）17:00-19:30に、NCGMでおこないます。
報告会では、途上国を中心とした医療の現場と現地で使われている医療機器について、受講生の皆様が講義のなかで学んだことを報告いたします。海外展開に関心のある医療機器メーカー・ディーラー、ものづくり企業の皆様の参加をお待ちしております。

詳しくはhttps://ikou-hub.tokyo/contents/kaigai_jinzai_program

または、下記お問い合わせ先までご連絡ください。



中間報告会の様子 参加者の方々



中間報告会の様子 受講生の方々